

特集2 「選ばれる青森」への挑戦 ～オールあおもりで、確かな未来へ～

2023年度は「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」の最終年度です。農業産出額が7年連続で3,000億円を超え、県内創業支援拠点を利用した創業者数は7年連続で100人を超えるなど、これまでの取組による確かな歩みをさらに進めながら、2023年度は、社会経済情勢の変化等に対応するための3つの視点を重視し、「選ばれる青森」実現への総仕上げに加え、次なる将来を拓いていくための「将来への10テーマ」にも取り組みます。

「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」とは
2019年度から2023年度までの5年間の県の取組方針をまとめたもの。「選ばれる青森」には、若者から学ぶ場所・働く場所・生きる場所として「選ばれる青森」、食や観光をはじめ本県の価値が国内外から「選ばれる青森」をめざす、という意味があります。

2023年度当初予算 重視する3つの視点

経済を回す

疲弊した地域経済の回復、
外貨獲得による経済の活性化

暮らしを守る

暮らしにおける安全・安心の確保と
心身の健康づくり

DX デジタル トランスフォーメーション

あらゆる分野でのデジタルによる変革
※DX…デジタル技術を活用することにより、社会や生活の
構造・スタイル等をより良く変革していくこと

将来への10テーマ

社会経済情勢のさらなる変化や価値観の多様化、気候変動などによる将来の影響を予測し、新たな社会構造の構築に向け、腰を据えて取り組む10のテーマです。

DX推進体制

「産業」、「暮らし・まち」、「行政」各分野におけるDX推進に向けた体制づくりに総合的に取り組みます。

農産物等輸出拡大

将来の国内需要減、海外需要増に対応し、農産物等の輸出拡大に向けた基盤づくりに取り組みます。

水産業活性化

漁獲の減少を乗り越えた先の発展に向け、水産業の基盤を強化します。

労働力確保

経済を支える労働力の不足に対応し、さまざまな人材が活躍できる仕組みと体制をつくります。

縄文遺跡群保存・活用

世界に誇る縄文遺跡群を未来につなぎ、長く選ばれる観光資源として活用される体制等を強化します。

地域脱炭素総合対策

2050年のカーボンニュートラル実現に向け、産業や家庭などからのCO2排出削減と森林による吸収源対策を総合的に進めます。

地域共生

さらなる人口減少と超高齢化時代を見据え、住民が互いにつながり、支え合う仕組みづくりに取り組みます。

生涯健康

県民の「生涯健康」を実現するため、学校と家庭の両面から、総合的にアプローチします。

危機管理

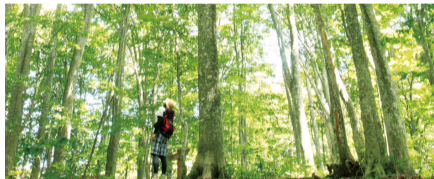
頻発・激甚化する災害から県民の命と財産を守る体制づくりを行います。

幼児教育

「幼・保」の区別、公立・私立の垣根を越えた推進体制づくりや幼保小連携により、幼児教育のさらなる質の向上に取り組みます。

「経済を回す」主な取組

国内外からの観光需要の取り込み



世界自然遺産登録30周年を迎える白神山地やアートと花を活用した誘客宣伝、国際定期便の再開に向けたプロモーション等を行います。

あおもり米のブランド力強化



“ふっくらやさしい食感と、毎日食べたいくなるほどよい甘み”「はれわたり」の全国デビューを契機に、あおもり米全体のブランド力のさらなる強化に取り組みます。

将来10 農産物等の輸出拡大基盤づくり



マーケットイン型の輸出品目育成や商品開発支援、輸出に取り組むプレーヤーの育成などの基盤づくりに取り組みます。

将来10



「青森の縄文遺跡群」の保存・活用体制の強化

県外プロモーションや旅行商品の造成に加え、アクセス環境の充実や遺跡施設等の受け入れ態勢整備に向けた支援を行います。

将来10

「あおもりの浜」の基盤強化

増養殖などの「つくり育てる漁業」や、漁業体験観光などの「海業(うみぎょう)」のさらなる展開に取り組みます。

将来10

産業分野横断的な労働力確保体制強化

しごとと求職者のマッチングを進め、女性や高齢者、障がい者など多様な力が最大限生かされ、UIターン人材も活躍できる体制づくりを進めます。